

# 紹介率

## QI 項目の解説

紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。地域医療支援病院として、地域の医療機関（かかりつけ医）からの紹介患者を速やかに受け入れる体制を確保することは重要なことです。

紹介率は、「紹介患者に対する診療提供体制」や「地域の医療機関との連携状況」を示す指標となります。

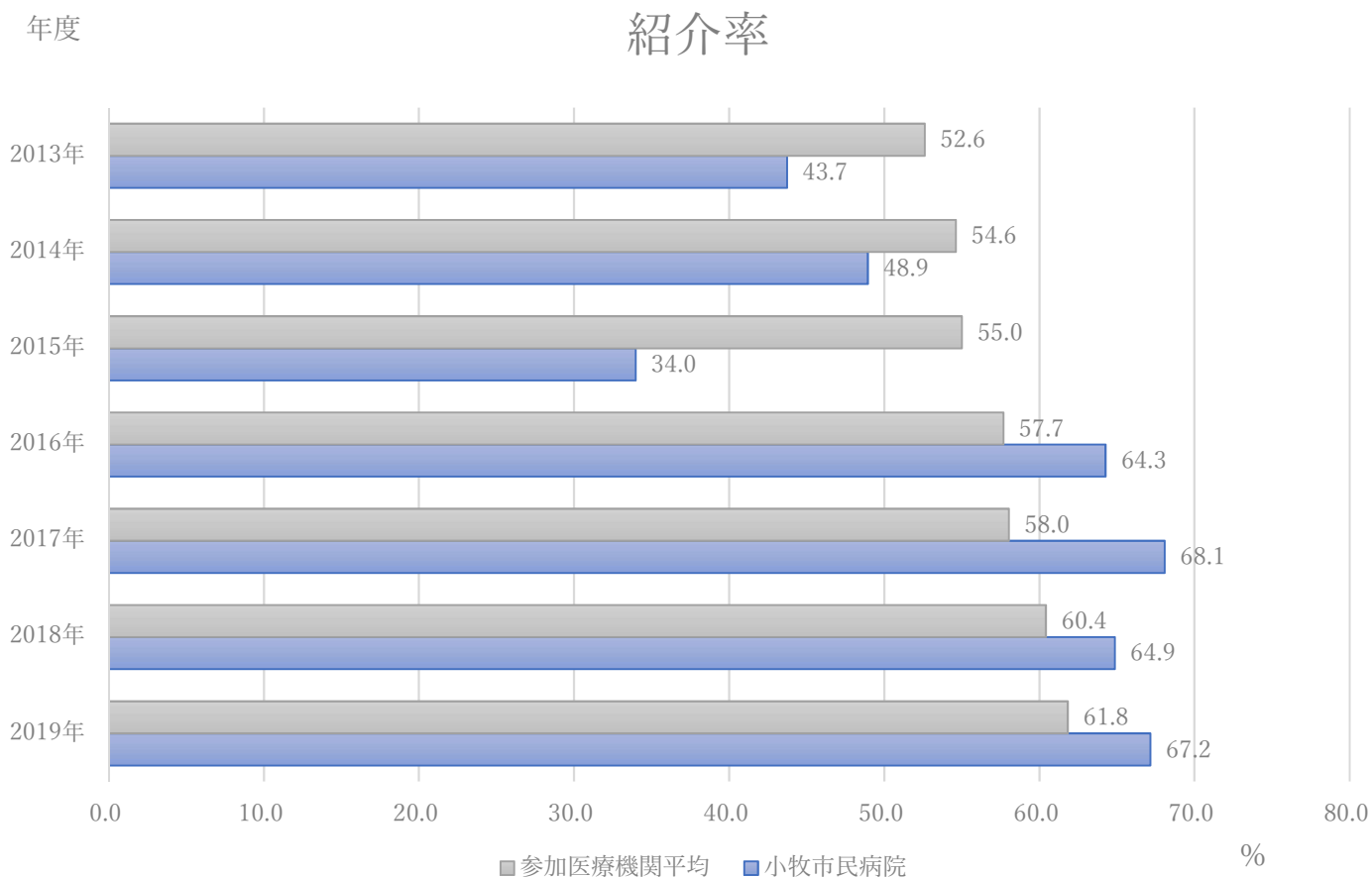
本指標では、より高い値が望ましいとされています。

## 紹介率

### QI 指標の定義・測定方法

分子： 紹介初診患者数

分母：  $\frac{\text{紹介初診患者数}}{\text{初診患者数} - (\text{休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数}) + \text{休日・夜間の初診救急患者数}} \times 100$  単位 (%)



## 2019 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

当院が目標とする地域医療支援病院の紹介基準は、「紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上」です。500床以上の病院の平均を下回りますが、2019年度の紹介率67.2%は十分高い数字であり、特に問題はないと考えます。

## 2019当院データと2018当院データとの比較・原因分析

2019年度の紹介率は67.2%であり、2018年度の64.9%から2.3ポイント上昇しており、新病院効果で紹介患者数が22,236人から25,187人へと増加した結果と考えます。

## 数値改善に向けた今後の取り組み

高度医療機器の共同利用の促進を図ります。

## 2018当院データ評価時の改善策の実施状況と評価

地域の医療機関からの意見を参考に紹介受入体制を充実させることができました。

# 逆紹介率

## QI 項目の解説

逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者さんの割合です。

地域の医療機関（かかりつけ医）からの紹介患者さんを速やかに受け入れるためには、紹介予約枠の適正確保が重要です。そのためには、症状の落ち着いた患者をかかりつけ医に逆紹介し、日頃の診療をお願いする必要があります。

逆紹介率は、「地域の医療機関との連携状況」を示す指標となります。

本指標では、より高い値が望ましいとされています。

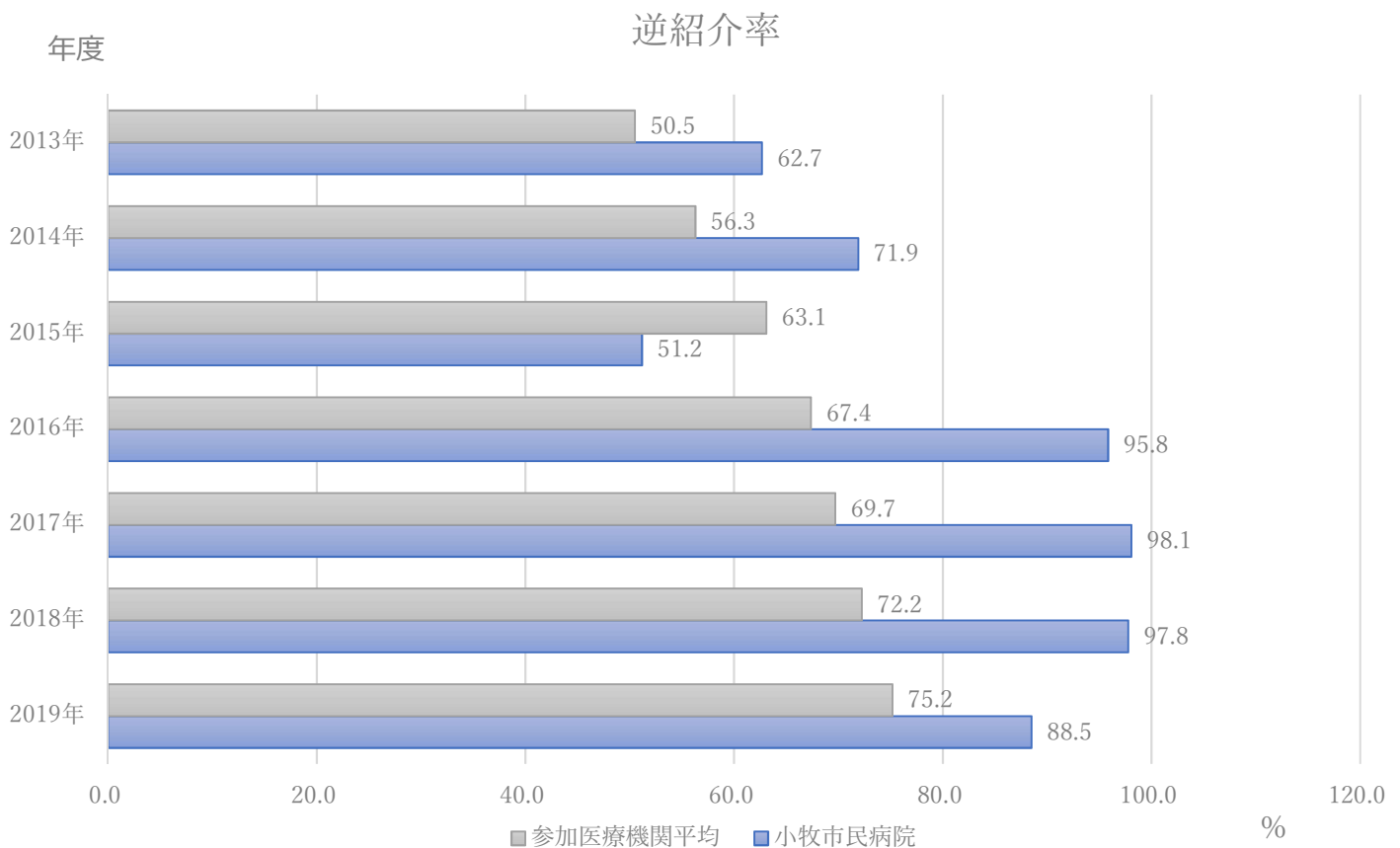
## 逆紹介率

### QI 指標の定義・測定方法

分子： 逆紹介患者数

分母： 初診患者数－(休日・夜間以外の初診救急車搬送患者数  
＋休日・夜間の初診救急患者数)

× 100 単位 (%)



## 2019 当院データと全施設平均値との比較・原因分析

当院が目標とする地域医療支援病院の紹介基準は、「紹介率 65%以上かつ逆紹介率 40%以上」で、500 床以上の病院の平均を下回るが、2019 年度の逆紹介率 88.5%は十分高い数値であり、特に問題はないと考えます。

## 2019当院データと2018当院データとの比較・原因分析

2019 年度の逆紹介率は 88.5%であり、2018 年度の 97.8%から 9.3 ポイント減少しています。新病院開院に伴うシステム変更で業務の不慣れが生じ、逆紹介患者数が減少したと考えられます。

## 数値改善に向けた今後の取り組み

引き続き、症状の落ち着いた患者さんを積極的に逆紹介として働きかけを行います。

## 2018当院データ評価時の改善策の実施状況と評価

地域の医療機関と連携し、役割分担が確立されております。